

認定特定非営利活動法人びわ湖トラスト

2021年度総会

式次第

日時：2021年5月22日（土）13時15分～14時30分

場所：旧大津公会堂 3階大ホール

次第：

司会進行 内藤理事

13時15分	出席者確認	内藤理事
	議事録作成および署名人の選出	前田理事／中島理事、下村理事
	開会宣言	内藤理事
	議長選出	氏家理事長
13時20分	議長挨拶	
	第1号議案	2020年度事業報告に関する件 熊谷事務局長
	第2号議案	2020年度決算報告に関する件 前田理事
	第3号議案	2020年度会計監査に関する件 嶋崎監事
	第4号議案	2021年度事業計画（案）の件 熊谷事務局長
	第5号議案	2021年度予算書（案）の件 熊谷事務局長
	第6号議案	理事退任・就任（案）の件 熊谷事務局長
14時00分	閉会宣言	内藤理事
14時00分		挨拶 山田能裕・前理事長
14時15分	新理事会	理事長、副理事長選出

講演会

14時30分	座長	今井理事（びわ湖トラスト）
14時30分	講演（1）	「びわ湖のプランクトンと私」 川井彩音（石山高校3年）
15時00分	講演（2）	「ジュニアドクター育成塾 ～次代を担う研究者の卵を育成する～」 青田容明（びわ湖トラスト）
15時30分	終了	

2020年度 活動報告(第14期) 2020年4月1日～2021年3月31日まで

I. 本年度の活動(一般)

日時	名称	対象	参加	場所	事業	
2020年						
4	20	第137回 理事会	理事・顧問	18	大津港 会議室	8
5	7	第138回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
	24	総会	会員・一般	5	大津港 研究室	8
6	26	第139回 理事会	理事・顧問	22	大津港 会議室	8
7	28	第140回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
8	4	びわ湖トラスト親子環境学習講座 湖岸調査	一般親子	32	O'PAL (大津市雄琴)	4
	7	びわ湖トラスト親子環境学習講座 megumiに乗船	一般親子	16	琵琶湖 (大津港発着)	4
	19	びわ湖トラスト親子環境学習講座 megumiに乗船	一般親子	11	琵琶湖 (大津港発着)	4
	23	びわ湖トラスト親子環境学習講座 ブライアンに学ぶ写生	一般親子	26	堅田(道の駅びわ湖大 橋米プラザ)	4
	31	第141回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
9	19	びわ湖トラスト親子環境学習講座 トチノキ観察会	一般親子	12	朽木 (高島市)	4
	25	第142回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
10	1	びわ湖岸マスクゴミ事前調査	理事	2	びわ湖東・西岸	2
	2					
	3					
	27	第143回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
-	トラストたより発刊第21号	会員	-	-	6	
11	3	琵琶湖漂着ゴミの回収と分別調査	ジュニアドクター 育成塾受講生等	45	マキノ	2
	7	びわ湖トラスト親子環境学習講座 トチノキ観察会	一般親子	11	朽木 (高島市)	4
	19	第144回 理事会	理事・顧問	21	大津港 会議室	8
12	22	第145回 理事会	理事・顧問	23	大津港 会議室	8
2021年						
1	29	第146回 理事会	理事・顧問	18	大津港 会議室	8
2	23	エフピコ Zoom 工場見学	会員・ジュニアドクター 育成塾受講生	33	エフピコ 中部リサ イクルセンター	4
	24	第147回 理事会	理事・顧問	21	大津港 会議室	8
3	27	第148回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
	-	トラストたより発刊第22号	会員	-	-	6

* ジュニアドクター育成塾については、年間通じて活動したため次頁に記す。

本年度の活動（ジュニアドクター育成塾）

日時	期	講座	テーマ・内容	講師	参加	会場	
2021年							
5	17	1,2	座学 ガイダンス 生物倫理	今井 一郎 (北海道大学)	13	コラボしが2 1	
		3					動物実験倫理及び今後の方針
	24	1,2	座学	私達の生活と関わりのある琵琶湖の生き物	桑原 雅之 (琵琶湖博物館)	16	研究室
6	7	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	9	研究室
		3	座学	びわ湖と生物	中島 拓男	21	コラボしが2 1
	14	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	8	研究室
	21	1,2	船上	第1回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	5	はっけん号
	28	3	座学	びわ湖の流れと地球の自転	吉川 裕 (京都大学)	20	コラボしが2 1
7	5	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	5	研究室
		3	船上	びわ湖の流れを調べよう	吉川 裕	6	はっけん号
	12	1,2	座学	堆積物情報	柏谷健二 (金沢大学)	9	研究室
	19	1,2	船上	第2回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
		3	座学	湖底から湖の環境を考える	石川 俊之 (滋賀大学)	17	コラボしが2 1
	26	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る1	柏谷 健二		コラボしが2 1
8	2	1,2	座学	生物時計1	西村 洋子 (龍谷大学)	8	研究室
		3	船上	びわ湖のプランクトンを観察しよう	今井 一郎	5	はっけん号
	8	全 クズ 抽選	座学	ソーラーボート合宿	熊谷 道夫・青田 容明 (立命館大学/びわ湖ト ラスト)	42	高島市
	9						
	10						
	23	1,2	座学	生物時計2	西村 洋子	7	研究室
		3	野外	河川の魚観察	桑原 雅之 桑原 明大 (ラーゴ)	16	和邇公園
	30	1,2	船上	第3回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
3		座学	地球生態系とプランクトン	伴 修平 (滋賀県立大学)	18	コラボしが2 1	
9	6	1,2	座学	ウイルスから恐竜まで～生物の進化の歴史1	君付 龍祐 (アルバータ大学)	9	研究室
	13	1,2	座学	ウイルスから恐竜まで～生物の進化の歴史2	君付 龍祐	8	研究室
		3	船上	びわ湖の水質を調べよう	杉山 雅人 (京都大) 中島 拓男	6	はっけん号
	20	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る2	柏谷 健二	16	コラボしが2 1
	27	3	座学	びわ湖の水質の季節変化	杉山 雅人	19	コラボしが2 1

10	4	1,2	座学	数理モデルってなんだろう? 1	三木 健 (龍谷大学)	11	研究室
		3	船上	びわ湖の生き物を調べよう	石川 俊之	6	はっけん号
	11	1,2	座学	数理モデルってなんだろう? 2	三木 健	7	研究室
		3	座学	びわ湖の水質・藻類の移り変わり・要因について	岸本 直之 (龍谷大学)	13	コラボしが2 1
	18	1,2	船上	第4回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号
25	3	座学	水環境の問題と水処理技術	畠平 智子 (東レ)	15	コラボしが2 1	
11	1	1,2	座学	環境 DNA 1	山中 裕樹 (龍谷大学)	9	研究室
		3	船上	びわ湖の生き物を調べよう	伴 修平 (滋賀県立大) 後藤 直成 (滋賀県立大) 中島 拓男	6	はっけん号
	15	1,2	座学	環境 DNA 2	亀甲 武志 (近畿大学)	8	研究室
		3	座学	生物の持つリズム 1	西村 洋子	17	コラボしが2 1
	29	1,2	船上	第5回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	5	はっけん号
3		座学	生物の持つリズム 2	西村 洋子	16	大津公民館	
12	6	1,2	座学	ヒトの体の仕組みに驚こう 1	藤井 達哉 (滋賀県立 小児保健医療センター)	9	研究室
	13	1,2	座学	ヒトの体の仕組みに驚こう 2	藤井 達哉	6	研究室
		3	座学	水圏環境とプランクトン	今井 一郎	17	大津市市民
	20	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る 3	柏谷 健二	17	コラボしが2 1
27	1,2	船上	第6回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号	
2021年							
1	10	1,2	座学	Wave Pump について 1	熊谷 道夫	6	研究室
	17	1,2	座学	計算機演習 1	藤井 康之 (立命館大)	12	研究室
		3	座学	成果発表会 準備 個別相談会	桑原 雅之 青田 容明	19	コラボしが2 1
	31	1,2	座学	Wave Pump について 2	熊谷 道夫	8	研究室
2	7	1,2	船上	第7回琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号
	14	1,2	座学	計算機演習 2	藤井 康之	7	研究室
		3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	16	コラボしが2 1
	21	1,2	座学	研究発表練習 1	熊谷 道夫	3	研究室
	23	1~ 3	工場 見学	Zoom 工場見学	エフピコ 中部 リサイクルセンター	33	研究室 各拠点
28	3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	16	コラボしが2 1	

3	7	1,2	座学	研究発表練習 2	熊谷 道夫	8	研究室
		3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	10	コラボしが2 1
	14	1,2	座学	研究発表練習 3	熊谷 道夫	6	研究室
		3	船上	フォローアップ調査	今井 一郎	5	はっけん号
	20	1,2	座学	研究発表練習 3	熊谷 道夫	5	研究室
	21	1,2	船上	第8回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
		3	個別	3期生個別指導	中島 拓男	5	コラボしが2 1
		4	適性	4期生応募者一次募集適性テスト①	トラスト 2名	23	
	26	1,2	個別	研究発表 個別指導	熊谷 道夫	5	研究室
	30	4	適性	一次募集適性テスト②	青田 容明	1	
	28	全 入	発表	成果発表会・修了式	審査委員 8名 評価委員 4名	47	スカイプラザ 浜大津

II. 事業活動

1. 湖内調査研究支援事業

(1) 琵琶湖湖底調査：

- ・2019年3月10日から現在まで、びわ湖第1湖盆で水温と溶存酸素濃度の連続観測を行っている。
- ・琵琶湖の固有種であるビワオオウズムシが水温上昇と酸素不足で激減した可能性があることがわかった。2021年1月に水温低下と酸素回復が見られたが、ビワオオウズムシは3個体を確認したにとどまった。今後も回復しない可能性が高いと思われる。

(2) 水草調査

2020年3月から松の木内湖で水草の調査を行っている。農閑期である冬季に地下水が大量に流入していることを確認した。今後、地下水の流入が止まる農繁期の状況を調べる予定である。

2. 森林調査研究支援事業

比良比叡トレイル保全作業

台風などの影響で倒木がトレイル内にあったため、整備を行う。参加者のべ90名
作業場所：大津市伊香立上在地の林道

びわ湖岸マスクゴミ事前調査 10月1日～3日

びわ湖東岸及び西岸 参加者2名

琵琶湖漂着ゴミの回収と分別調査 11月3日

滋賀県高島市 マキノグランドパークホテル裏の湖岸より約1km 参加者45名

3. 環境修復支援および環境保全事業

沖島清掃

新型コロナウイルスのために中止となった。

4. 環境教育事業

- (1) **びわ湖トラスト親子環境学習講座**：親子での体験プログラム。トチノキ・写生は小学生1年生以上、それ以外は小学生3年生以上の親子が対象。夏休みのプログラムは定員超過のため、全て抽選を実施。

会員の方にボランティアスタッフの希望を募る。各イベントで参加いただいた。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、各講座でのイベント定員数を減らし、除菌や検温などの対策を講じた。

①トチノキ観察（於 朽木）

安曇川源流域・高島市朽木の森で実際にトチノキとその周辺の自然を観察。

講師：元グリーンウォーカーカネイチャークラブ代表 青木 繁 氏

- ・第1回 9月19日 ※6月の予定を新型コロナウイルスの影響で延期
- ・第2回 11月7日

②湖岸調査

新型コロナウイルス感染症対応の為、3班制から2班制に変更。午前中で終了。

8月4日 於 O'PAL（大津市雄琴）

2班に分かれて、プランクトン観察、カヌー体験を行う。

③megumiに乗船

環境学習船『megumi (メグミ)』に乗船した学習プログラム。

講義・びわ湖に生息するプランクトンの採取と顕微鏡観察を行う。

講師：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 一瀬 諭 氏

・第1回 8月 7日 プランクトン観察と講義・沖島散策

・第2回 8月 19日 プランクトン観察と講義・びわ湖大橋米プラザでの散策

(沖島は新型コロナウイルス感染症予防対策で入港出来なかった為)

④ブライアンに学ぶ写生

8月23日 於 びわ湖大橋米プラザ

環境についての講義と写生の手法についての説明・湖辺の写生(講師指導)・講評をいただく。

講師：ブライアン・ウィリアムズ 氏(風景画家)

(2) 小学5年生～中学3年生対象：『ジュニアドクター育成塾 (JST)』

次世代のドクター育成を目指す。5年間の計画3年目。

2年目以降の受講生は個人的な研究を進める。

【一・二期生】(2年目以降) 24名

・講義 全25回

・船上講座 全8回 1名につき2・3回程度

実験調査船はっけん号を用いて行う。

・JSTサイエンスカンファレンス(オンライン開催) 11月19～22日

口頭発表(動画)2名、グループセッション1名 参加

【三期生】(1年目) 24名

・講義 全18回

大学の教授や一般企業の研究職の方を講師として座学を実施。

・船上講座 全6回

実験調査船はっけん号を用いて行う。

・野外学習 1回

河川の魚観察

【一～三期生合同】

・ソーラーボート大会 先端技術部門参加 8月9・10日

希望者を募り、定員を決めて8月8日～10日まで(2泊3日)合宿を実施。

大会での結果は100W級で優勝、準優勝。

・工場見学(エフピコ株式会社 中部リサイクルセンター) 2月23日

トラストの会員を交えてリモートでの見学を実施。

・成果発表会 3月28日 一～三期生 47名 評価・審査委員 12名

感染予防対策を万全にして実施。

(3) 高校生プログラム 8名：東レエンジニアリング株式会社

高校生を対象とした環境教育事業。

・ソーラーボート大会 先端技術部門参加

ジュニアドクター育成塾の塾生と共に参加。

5. 情報交流事業

びわ湖トラストの集いは新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、中止。

6. 目的を達成するために自己体質の強化を図る事業

(1) 会員向け発行誌『びわ湖トラストたより』 2回発行。

(2) 環境教育活動では、小学生親子対象の単発イベントについては、県や市が案内配布するチラシやホームページに掲載すると共に、大津市教育委員会の後援を得て、市内の小学校数校に配布。ジュニアドクター育成塾でも県や県内の市と京都市の教育委員会の後援を得て活動・PRを行った。

7. 緊急時の対応

地震などの急な災害の場合は随時対応する。新型コロナウイルス感染対策として、ジュニアドクター育成塾の受講生を中心とした健康チェックを実施している。

8. 第1項の各事業を支援するための事業（定款第5条第1項）

各種事業等は随時助成金・寄付金を募り、特定非営利活動のみに活用。
一般管理費は会費収入で賄う。

(1) 通常総会 → 書面総会（出席者 5名）

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していた為、急遽書面総会を実施。

定足数を満たすための最小人数出席候補者と書面および委任状による表決方式で実施。

日 時： 5月25日（土） 14時00分～14時40分

内 容： 前年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、理事就任退任、
本年度の事業計画（案）、収支予算計画（案）の承認

(2) 定例理事会 月1回 17時半から約2時間、大津港 会議室など

9. 特別会計

はっけん号の運行

湖内調査研究支援事業・環境教育事業に 合計19回活用。

2020年度 びわ湖トラスト収支計算書(県様式)

単位 円

項目	金額	備考
収入の部		
会費		会員(個人、法人)の会費
正会員個人	329,000	
正会員法人	360,000	
賛助会員個人	189,000	
賛助会員法人	660,000	
未収入金	102,000	
一般寄付金	116,300	用途を限定していない寄付金
助成金、大口寄付金、補助金	18,217,814	目的が明確な基金(100万円以上下記) JST 9,925,542、平和堂 1,697,416 コスモ石油エコカード基金 2,000,000、 三祐 3,000,000、エフピコ 1,000,000
はっけん号運航負担協力金	1,150,000	外部からの負担協力金
収入合計	21,124,114	
事業支出の部		
給与手当	6,320,242	びわ湖トラスト所属要員給与
臨時賃金	2,221,095	謝礼
業務委託	2,414,934	高度技術委託等
旅費交通費	1,627,087	講師招聘、一般旅費
物品購入	2,951,182	燃料費、各種消耗品等
その他	3,185,273	廃船費用積み立て、棧橋使用料等 会議費・通信費・保険・賃料他
小計	18,719,813	
管理費		
給与手当	995,335	事務員給与
印刷製本	20,658	
旅費交通費	87,060	事務員、役員、講師等の交通費
通信、輸送費	129,411	電話、郵送、ネット代等
消耗品事務品費	203,867	プリンタートナー、用紙等
水道光熱費	28,397	
支払手数料	15,160	
家賃地代	66,000	事務所家賃
会議費	8,930	
保険料	277,952	ボランティア保険
修繕費	0	
貸倒損失	78,000	未納会費(2年未納で自動脱会)
雑費	0	
小計	1,910,770	
支出合計	20,630,583	
経常収支合計	493,531	
金利	36	
前期損益修正益	115,545	未払金2019年度予定額の差額(残額)
収支差	609,112	

びわ湖トラスト貸借対照表

2021年3月31日現在

単位 円

【流動資産】			【流動負債】		7,374,289
現金		60,862	前受金 (東レエンジ)	1,050,000	
一般会計現金	31,885		未払金	1,333,089	
特別会計現金	28,977		廃船費用引当金	3,991,200	
預金		10,710,952	短期借入金	1,000,000	
滋賀銀行本店普通預金口座	5,638,743				
郵便振込口座 1	780,563		【純資産】		
郵貯普通口座	241,659		前期繰越財産	2,890,413	2,890,413
郵便振込口座 2 (特別)	4,049,987				
未収入金		102,000	当期財産増加額	609,112	609,112
未納会費(個人正)	51,000				
未納会費(個人賛助)	51,000		正味財産		3,499,525
資産合計		10,873,814	財産 + 負債		10,873,814

以上の通り報告致します

認定NPO法人 びわ湖トラスト

監査の結果いずれも適法かつ正確であることを認めます。

監査人 香川晃一



監査人 嶋崎良伸



2021年度の事業計画書案（第14期）

2021年4月1日から2022年3月31日

認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト

1. 事業実施の方針

今後、大きな変化が予想されるびわ湖およびその集水域の環境監視と保全を実施するために、設立趣旨に基づいた活動を積極的に展開する。“湖沼及びその集水域の環境保全に関心を持つ人々と共に、調査研究の支援、環境修復の支援、情報交換の推進、環境教育の推進等に関する事業を行い、びわ湖を中心とした国内外の湖沼及びその集水域の環境保全に寄与することを目的とする（定款より）”

2. 特定非営利活動内容

事業名 (定款に 記した事業)	具体的な事業内容	(A)実施予定日時 (B)実施予定場所 (C)従事者の予定人 ・日数	(D)受益対象の範囲 (E)予定人数	収支予算書 事業費金額 (千円)	
				収入	支出
湖内調査研究支援 事業	びわ湖内における調査研究 の支援	(A)随時 (B)びわ湖 (C)50人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	10,980 10,980	
環境教育事業	調査船やカヌーによる湖上 学習・トチノキ観察会・水辺 写生大会など 小中高生の指導	(A)6回程度 (B)びわ湖と集水域 (C)1000人	(D)(E)将来びわ湖の 恵みを受ける不特定多 数の人々	12,800 12,800	
環境修復支援 および美化事業	プラスチックゴミ調査 水草調査 ごみの回収	(A)随時 (B)びわ湖と集水域 (C)150人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	3,050 3,050	
情報交流事業	会員や市民との情報交流・ 講演会・交流会・総会 びわ湖文庫など	(A)随時 (B)びわ湖と集水域 (C)100人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	350 350	
第1項の各事業を 支援するための 事業	・各事業の運営を補助し円 滑に進める支援事業 ・広報宣伝活動を強化し会 員数強化を図る。ホームペ ージやパンフレット作成 ・事故や災害に備えた事業	(A)随時 (B)国内全域 (C)理事・会員	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	1,788 1,788	
特別会計	はっけん号の運用と管理	(A)随時 (B)びわ湖 (C)300人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	6,026 6,026	

びわ湖トラスト 2021年度予算(案)

一般会計			
	勘定科目	内容	予算
収入	会費	すべての会費	1,538,000
	助成金	平和堂	1,500,000
	助成金	JST	10,000,000
	助成金	コスモ石油エコカード	2,000,000
	助成金	東レENG西日本	250,000
	助成金	東レENG	1,050,000
	助成金	エフピコ	2,000,000
	助成金	日本財団	8,980,000
	寄付金	真如苑	250,000
	寄付金	その他	1,500,000
	収入合計		29,068,000
	繰越資産		1,651,281
	収入+繰越資産		30,719,281
	支出	事業費	
湖内調査研究支援事業			
学ぶ、守る、つなぐ		コスモ石油エコカード	2,000,000
湖底生物調査		日本財団	8,980,000
環境教育事業			
親子環境学習		平和堂	1,500,000
水辺写生会		東レENG西日本	250,000
高校生Drチャレンジ		東レENG	1,050,000
ジュニアドクター育成		JST	10,000,000
環境修復事業			
プラスチック関連		エフピコ環境事業	2,000,000
水草対策		松の木内湖	1,000,000
美化活動		沖島清掃	50,000
情報交流事業			
総会+交流会			100,000
びわ湖文庫事業		真如苑	250,000
体質強化事業			0
一般管理費			1,788,000
給与手当			960,000
外注費			
旅費交通費			80,000
通信費			130,000
消耗品費			170,000
事務用品費			18,000
印刷費			20,000
保険料			51,000
事務所費			66,000
支払い手数料		200,000	
交際費			
会議費		9,000	
光熱費		30,000	
雑費		54,000	
支出合計		28,968,000	
収支差額		100,000	
収支差額+繰越		1,751,281	

はっけん号特別会計			
	勘定科目	内容	
収入	運航負担経費	内部25回	5,000,000
		外部10回	2,500,000
収入合計			7,500,000
繰越資産			-1,042,169
収入+繰越資産			6,457,831
支出	運航直接支出		5,900,000
	給与	船員の給与	1,500,000
	臨時給与	応援者の給与	300,000
	燃料費		900,000
	消耗品費		200,000
	保険	船舶保険等	260,000
	賃貸料(棧橋)	棧橋使用料	300,000
	修繕費	一般修繕	1,000,000
	交通費	船員の交通費	100,000
	通信費		10,000
	検査費用		0
	廃船積立金		1,330,000
	運航管理費		125,500
	給与手当	船舶運航	50,000
	旅費交通費	同上	5,000
	通信費	同上	1,500
	消耗品費	同上	22,000
	支払手数料	同上	27,000
	雑費	同上	20,000
	支出合計		6,025,500
収支差額		432,331	
収支差額+繰越		1,330,000	

びわ湖トラスト 理事退任・新任役員の内訳 (案)

退任理事：	川戸理事・小川理事・高木理事・久保理事・山本理事 平山理事・遠山理事・大河原理事
新任理事：	川井 久美 主婦 川添 智史 現・琵琶湖汽船株式会社取締役社長 桑原 雅之 琵琶湖博物館特別研究員 柴田 智恵美 元・滋賀県議会議員 尾藤 武 現・東レエンジニアリング西日本会長 藤井 達哉 県立小児保健医療センター小児科非常勤医師 三宅 貴江 湖国と文化編集長 鷺尾 龍華 大本山石山寺責任役員・塔頭法輪院住職
退任監事：	香川 晃一
新任監事：	高木 順

資料 2021年度役員等一覧(定員 理事25名 監事2名)

1	理事長	氏家 淳一	元・東レ 常務取締役
2	副理事長	辻 ひとみ	元・守山市議会議員
3	副理事長	福家 俊彦	園城寺(三井寺)長吏
4	理事	青田 容明	立命館大学非常勤講師
5	理事	今井 一郎	北海道大学名誉教授
6	理事	岩崎 功志	京大教育研究会代表
7	理事	柴田 智恵美	元・滋賀県議会議員
8	理事	藤井 達哉	県立小児保健医療センター小児科非常勤医師
9	理事	川崎 睦男	元・滋賀県中学校会会長
10	理事	川添 智史	琵琶湖汽船株式会社取締役社長
11	理事・事務局長	熊谷 道夫	立命館大学総合科学技術研究機構客員教授
12	理事	桑原 雅之	琵琶湖博物館特別研究員
13	理事	小松 明美	巨木と水源の郷をまもる会代表
14	理事	下村 力	元・住友信託銀行次長
15	理事	尾藤 武	東レエンジニアリング西日本会長
16	理事	三宅 貴江	湖国と文化編集長
17	理事	内藤 悟	びわ湖放送総務編成局 局長
18	理事	中島 拓男	元・琵琶湖研究所上席総括研究員
19	理事	伴 修平	滋賀県立大学環境科学部教授
20	理事	川井 久美	主婦
21	理事	前田 雅史	元・東レエンジニアリング常務
22	理事	鷺尾 龍華	大本山石山寺 責任役員 塔頭法輪院住職
23	理事	山内 陽子	元・高島市議会議員
24	理事	山脇 秀錬	オーバルオブテックス顧問
25	理事	吉山 洋子	龍谷大学農学部実験実習助手
1	監事	嶋崎 良伸	滋賀銀行サステナブル戦略室長
2	監事	高木 順	元・東レエンジニアリング理事